

# 学会録事

## 1. 英文誌編集委員会

2024年6月に、WileyからのPhycological Researchのオンラインジャーナル化の提案（冊子体廃止）について英文誌編集委員会の意見をまとめ、会長へ報告した。冊子データのバックアップ、オープンアクセス化の可能性、出版契約料の値下げ分の活用等について意見があった。

## 2. 和文誌編集委員会

2024年8月に和文誌「藻類」論文賞について、和文誌編集委員会の意見をまとめた。賞の名称、対象となる報文の範囲、対象となる報文の発表年について検討を行い、会長へ報告した。

## 3. 2024年度第4回持ち回り評議員会

2024年9月20日～10月15日に開催した。【議案1】和文誌編集委員会からの和文誌「藻類」論文賞に関する意見交換結果を踏まえ、賞の名称および実施要領（案）について、評議員からの意見を集めた。

## 4. 2024年度第5回持ち回り評議員会

2024年10月30日～11月7日に開催した。第40回国際生物学賞記念シンポジウムの後援に日本藻類学会がなることの可否を審議し、その結果、国内評議員14名のうち12名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

## 5. 2024年度第6回持ち回り評議員会

2024年11月17日～11月29日に開催した。【議案1】いわゆる和文誌「藻類」論文賞として検討してきた賞の名称を「日本藻類学会和文誌論文賞」とすることの可否を審議し、その結果、「可」8名、「否」1名の回答があり承認された。【議案2】「日本藻類学会論文賞（JSP Best Paper Award）」を「日本藻類学会英文誌論文賞（Phycological Research Best Paper Award）」へ名称変更すること可否を審議し、その結果、「可」9名、「否」0名の回答があり承認された。【議案3】日本藻類学会和文誌論文賞選考実施要領（2024年度版）を制定することの可否を審議し、その結果、「可」9名、「否」0名の回答があり承認された。

## 6. 2024年度第7回持ち回り評議員会

2024年11月20日～12月3日に開催した。【議案1】奥田一雄会員を名誉会員に推薦することの可否を審議し、国内評議員14名のうち、「可」10名、「否」0名の回答があり承認された。

## 7. 水産・海洋科学研究連絡協議会

令和6年度第2回水産・海洋科学研究連絡協議会が2024年12月19日（木）13:00～15:00にオンライン（Zoom会議）により行われ、小亀会長が出席した。議長、副議長、幹事の選出、各学会からの活動報告、日本学術会議の動向についての報告があり、情報交換・意見交換を行った。

## 8. 2024年度第8回持ち回り評議員会

2024年12月19日～2025年1月10日に開催した。【議案1】Phycological Researchのオンラインジャーナルへの移行（冊子体廃止）に関して、Wileyからの提案、英文誌編集委員会からの意見、学会の財政状況を説明し、評議員からの意見を集めた。

## 9. 日本分類学会連合第24回総会

2025年1月11日（土）10:00～12:00にオンライン（Zoom会議）で開催され、河地正伸会長・田辺雄彦庶務幹事が出席した。報告事項：第23回総会・シンポジウム、定例役員会、生物科学学会連合第29、30回定例会議出席、分類学連合ロゴマーク承認、ニュースレター、ホームページ、データベース、メーリングリスト、ABS問題対策WG、国立自然史博物館新設WG、標準和名問題検討WG。審議事項：2024年度決算、2025年度事業計画・予算案、次期動物愛護管理法改正に関わる要望書に賛同、2026年度公開シンポジウム。

## 10. 学会HPによる情報配信と記載内容の更新

2024年10月～2025年1月に掲載・更新した内容は次の通りです：

- ・2024年度藻類談話会のご案内
- ・和文誌「藻類」72巻3号の公開
- ・シンポジウム情報
- ・第49回大会案内の公開
- ・日本藻類学会研究奨励賞（2025年授与）追加募集